

VI. 調查結果 養育者世帯

VI. 調査結果 養育者世帯

本人および世帯の状況について

① 年齢

質問 1 あなたの生年月を記入してください。

表：年齢（％）

		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	8.7	4.3	82.6	4.7
	一般計(n=17)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	11.8	5.9	76.5	5.0
	震災計(n=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	11.5	7.7	73.1	0.0
	一般計(n=23)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	13.0	8.7	69.6	0.0
	震災計(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

現在の年齢については、「60歳以上」が82.6%と最も高く、「50～54歳」が8.7%となっている。一般世帯と比べ震災世帯は年齢層が高く、すべて「60歳以上」となっている。

前回調査と比較すると、「60歳以上」が最も多いことには変わりはないが、その比率が高まっている。

② 同居している子ども以外の家族

質問 2 同居している家族で、あなたが養育されている子どもさん以外は何人ですか。[該当する番号すべてに○をつけ、それぞれ人数を（ ）に記入してください。]

表：同居している家族の人数と家族構成（％）

		1人	2人	3人	4人	5人以上	いない	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	8.7	4.3	0.0	0.0	8.7	65.2	13.0
	一般計(n=17)	11.8	5.9	0.0	0.0	11.8	58.8	11.8
	震災計(n=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	16.7
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	46.2	15.4	11.5	7.7	0.0	11.5	7.7
	一般計(n=23)	43.5	17.4	13.0	8.7	0.0	13.0	4.3
	震災計(n=3)	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

養育している子ども以外の同居家族の人数は、全体としては「いない」（65.2%）が最も多く、次いで「1人」、「5人以上」がそれぞれ8.7%と続いた。

前回調査と比較して、「1人」の割合が小さくなり、「いない」の割合が大きくなった。

表：家族構成（％）

		父母	祖父母	兄弟姉妹	子の配偶	その他	いない	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	21.7	17.4	8.7	0.0	43.5	30.4	13.0
	一般計(n=17)	29.4	17.6	11.8	0.0	52.9	23.5	11.8
	震災計(n=6)	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	50.0	16.7
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	19.2	7.7	3.8	11.5	57.7	11.5	7.7
	一般計(n=23)	21.7	8.7	0.0	13.0	60.9	13.0	4.3
	震災計(n=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3

家族構成については、全体としてみると父母・祖父母以外の「その他」（43.5％）との同居が最も多く、「いない」（30.4％）、「父母」（21.7％）の順となっている。

③ 養育している19歳以下の子ども

質問3 あなたが養育されている子どもさん（令和5年12月1日現在で19歳以下のものに限る。）の生年月を記入し、性別、同居の別、就学・就労状況欄の当てはまるもの1つに○をつけてください。

※修学、修業等のため別居中であっても、授業料、生活費の送金等をし、生計を同じくしている人を含みます。

※6人を超える場合は、欄外に記入してください。

表：生計を共にしている19歳以下の子どもの人数

		1人	2人	3人	4人	5人以上	いない	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	60.9	21.7	8.7	4.3	0.0	0.0	4.3
	一般計(n=17)	58.8	17.6	11.8	5.9	0.0	0.0	5.9
	震災計(n=6)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	69.2	19.2	3.8	0.0	0.0		7.7
	一般計(n=23)	73.9	12.0	4.3	0.0	0.0		8.7
	震災計(n=3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0		0.0

生計を共にしている19歳以下の子どもの人数については、「1人」（60.9％）が最も多く、「2人」（21.7％）、「3人」（8.7％）の順になっている。

前回調査と比較して、大きな傾向の違いは見られなかった。

表：中学校卒業後の進路（％）

		高校	高等専門 学校	専修学校・ 各種学校	就労	その他
令和5年度	養育者世帯計(n=7)	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0
	一般計(n=5)	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	震災計(n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成30年度	養育者世帯計(n=13)	92.9	0.0	0.0	0.0	7.1
	一般計(n=11)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	震災計(n=2)	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3

中学校卒業後の進路については、「高校」（85.7％）が圧倒数を占め、「高等専門学校」（14.3％）が続いた。今回調査でも、一般世帯・震災世帯共に就業者はいなかった。

表：高等学校卒業後の進路（％）

		高等専門 学校	短大	大学	専修学校・ 各種学校	就労	その他
令和5年度	養育者世帯計(n=4)	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	一般計(n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	震災計(n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
平成30年度	養育者世帯計(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般計(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	震災計(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

高等学校卒業後の進路については、「大学」と「就労」にそれぞれ回答が分かれた。

④ 子どもと養育者との続柄

質問4 あなたは、養育されている子どもさんからみて次のどれにあたりますか。

[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：子どもと養育者の続柄（％）

		祖父	祖母	伯父・叔父	伯母・叔母	兄	姉	他の親族	その他	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	43.5	30.4	0.0	4.3	0.0	0.0	4.3	8.7	8.7
	一般計(n=17)	35.3	35.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	11.8	11.8
	震災計(n=6)	66.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	50.0	30.8	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0
	一般計(n=23)	47.8	30.4	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0
	震災計(n=3)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

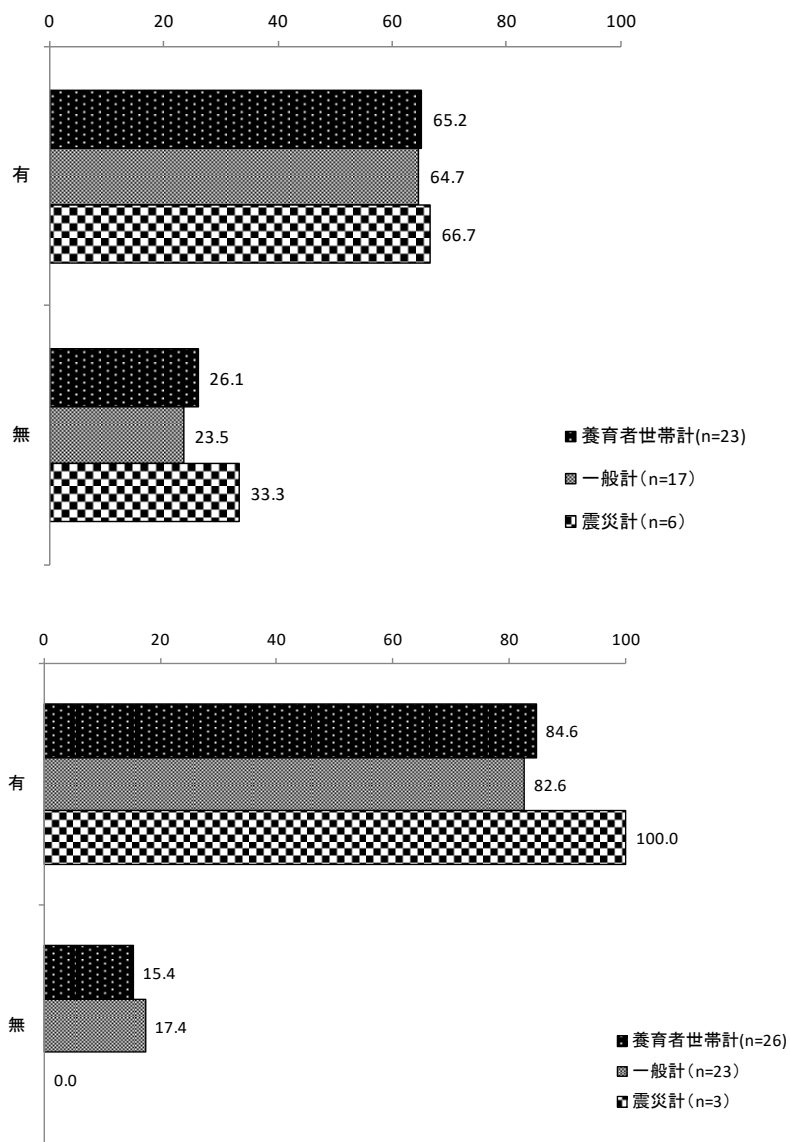
子どもと養育者との続柄については、全体としてみると「祖父」が43.5%で最も高く、次いで「祖母」が30.4%となった。震災世帯では、「伯母・叔母」にも回答が見られた。

前回調査と比較しても、概ね傾向は同じであった。

⑤ 配偶者の有無

質問 5 あなたには、配偶者はいらっしゃいますか。[該当する番号 1 つに ○ をつけてください。]

図：配偶者の有無 (%) 【上：令和 5 年度、下：平成 30 年度】



配偶者の有無を尋ねたところ、「有」が 65.2%と過半数を占める。その割合は一般世帯、震災世帯でも同程度である。

前回調査と比較して、配偶者「有」の割合が小さくなった。

⑥ 養育者世帯となった理由

質問6 養育されている子どもさんの、父母のいない理由は何ですか。

[該当する番号 1つに○をつけてください。]

表：養育者世帯となった理由（父）（％）

		病死	災害、事故死	その他死亡	離婚	未婚の母	遺棄	配偶者の心身障害	家出、行方不明	その他	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	4.3	8.7	4.3	52.2	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0	21.7
	一般計(n=17)	5.9	0.0	5.9	64.7	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	11.8
	震災計(n=6)	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	0.0	7.7	3.8	30.8	11.5	3.8	0.0	7.7	7.7	26.9
	一般計(n=23)	0.0	4.3	4.3	34.8	13.0	0.0	0.0	8.7	8.7	26.1
	震災計(n=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3

父親がいない理由をみると、「離婚」が52.2%で最も高く、次いで「災害、事故死」が8.7%の順となった。一般世帯においては「離婚」が圧倒的に多いと言えるが、震災世帯においては「災害、事故死」が多かった。

前回調査と比較すると、トップである「離婚」の比率はやや下がっている。

表：養育者世帯となった理由（母）（％）

		病死	災害、事故死	その他死亡	離婚	未婚の父	遺棄	配偶者の心身障害	家出、行方不明	その他	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	8.7	8.7	4.3	47.8	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0	17.4
	一般計(n=17)	11.8	0.0	5.9	58.8	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	23.5
	震災計(n=6)	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	19.2	7.7	0.0	26.9	7.7	3.8	0.0	7.7	11.5	15.4
	一般計(n=23)	17.4	0.0	0.0	30.4	8.7	4.3	0.0	8.7	13.0	17.4
	震災計(n=3)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

母親がいない理由をみると、「離婚」が47.8%で最も高く、次いで「病死」「災害、事故死」が8.7%となった。父親がいない理由同様、一般世帯においては「離婚」が圧倒的に多いと言えるが、震災世帯においては「災害、事故死」が多かった。

前回調査と比較すると、「配偶者の心身障害」の割合は低くなっている。

⑦ 養育者世帯になってからの年数

質問 7 あなたが養育者世帯になった時期を記入ください。

表：養育者になってからの年数（％）

		2年未満	2～5年未満	5～8年未満	8～11年未満	11～15年未満	15～18年未満	18～20年未満	20年以上	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	8.7	21.7	8.7	8.7	30.4	4.3	0.0	4.3	13.0
	一般計(n=17)	11.8	29.4	11.8	11.8	11.8	5.9	0.0	0.0	17.6
	震災計(n=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0	0.0	16.7	0.0
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	11.5	19.2	15.4	19.2	26.9	3.8	3.8	0.0	0.0
	一般計(n=23)	8.7	21.7	8.7	21.7	30.4	4.3	4.3	0.0	0.0
	震災計(n=3)	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

養育者世帯になってからの年数については、全体としてみると「11～15年未満」が30.4%で最も高く、次いで「2～5年未満」が21.7%と続いた。震災世帯では「20年以上」が一般世帯と比べて高い結果となった。

前回調査と比較すると、一般世帯では「11～15年未満」が最も多いことに変わりはない。

⑧ 養育者世帯になった当時困ったこと

質問 8 養育者世帯になった当時、最も困ったことは何ですか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：養育者世帯になった当時困ったこと（％）

		生活費	仕事	住居	家事	健康	相談相手	子どもの世話や教育	その他	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	39.1	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	43.5	0.0	8.7
	一般計(n=17)	47.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.2	0.0	11.8
	震災計(n=6)	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	42.3	0.0	0.0	3.8	7.7	3.8	38.5	3.8	3.8
	一般計(n=23)	47.8	0.0	0.0	4.3	4.3	4.3	34.8	4.3	4.3
	震災計(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0

養育者世帯になった当時、最も困ったことを尋ねたところ、全体としては「子どもの世話や教育」が43.5%で最も高く、次いで「生活費」が39.1%となった。一般世帯、震災世帯ともに「仕事」や「相談相手」にも一定の回答が見られた。

前回調査と比較すると、「仕事」の割合は小さくなり、「子どもの世話や教育」の割合は大きくなった。

⑨ 東日本大震災前の住居状況

質問 9 あなたの東日本大震災前の住居の状況について教えてください。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：震災前の住居状況（％）

		持ち家(分譲マンションを含む)	父母等の家に同居	借家(民間の借家・アパート・賃貸マンション)	公営・公社・公団の賃貸住宅	間借り	会社の社宅等	その他	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	73.9	4.3	13.0	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3
	一般計(n=17)	82.4	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9
	震災計(n=6)	50.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	73.1	7.7	7.7	3.8	3.8	0.0	0.0	3.8
	一般計(n=23)	73.9	8.7	8.7	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0
	震災計(n=3)	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

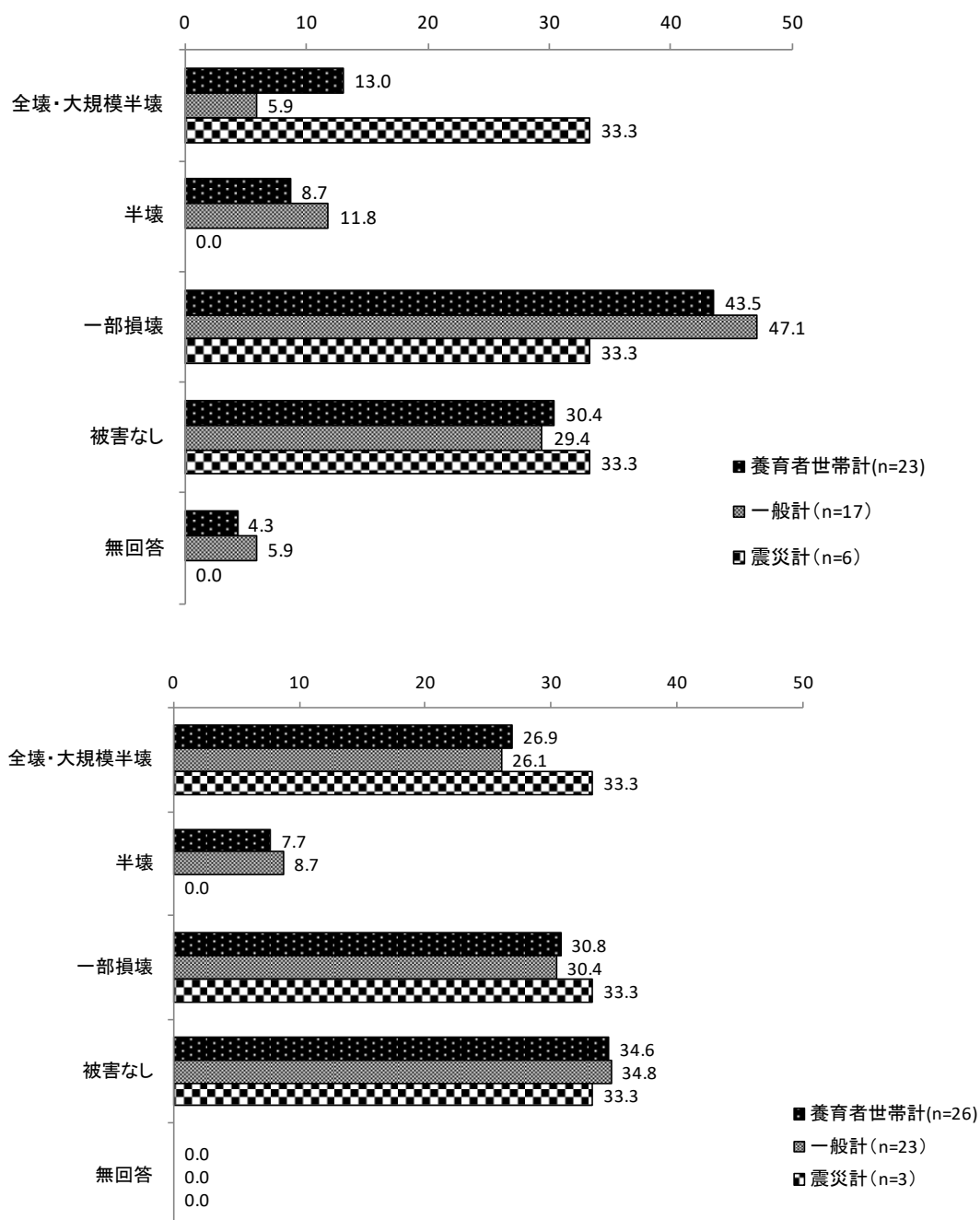
東日本大震災前の住居の状況を尋ねたところ、「持ち家（分譲マンションを含む）」が 73.9%と最も高い割合となった。震災世帯は「借家」の割合も多かった。

前回調査と比較しても、「持ち家（分譲マンションを含む）」が圧倒数を占める傾向に変わりはないが、「借家」の割合はやや大きくなっていることが確認された。

⑩ 東日本大震災による住居の被害状況

質問 10 東日本大震災前の住居は、被害がありましたか。【該当する番号 1 つに○をつけてください。】

図：震災による住居の被害状況（％）【上：令和 5 年度、下：平成 30 年度】



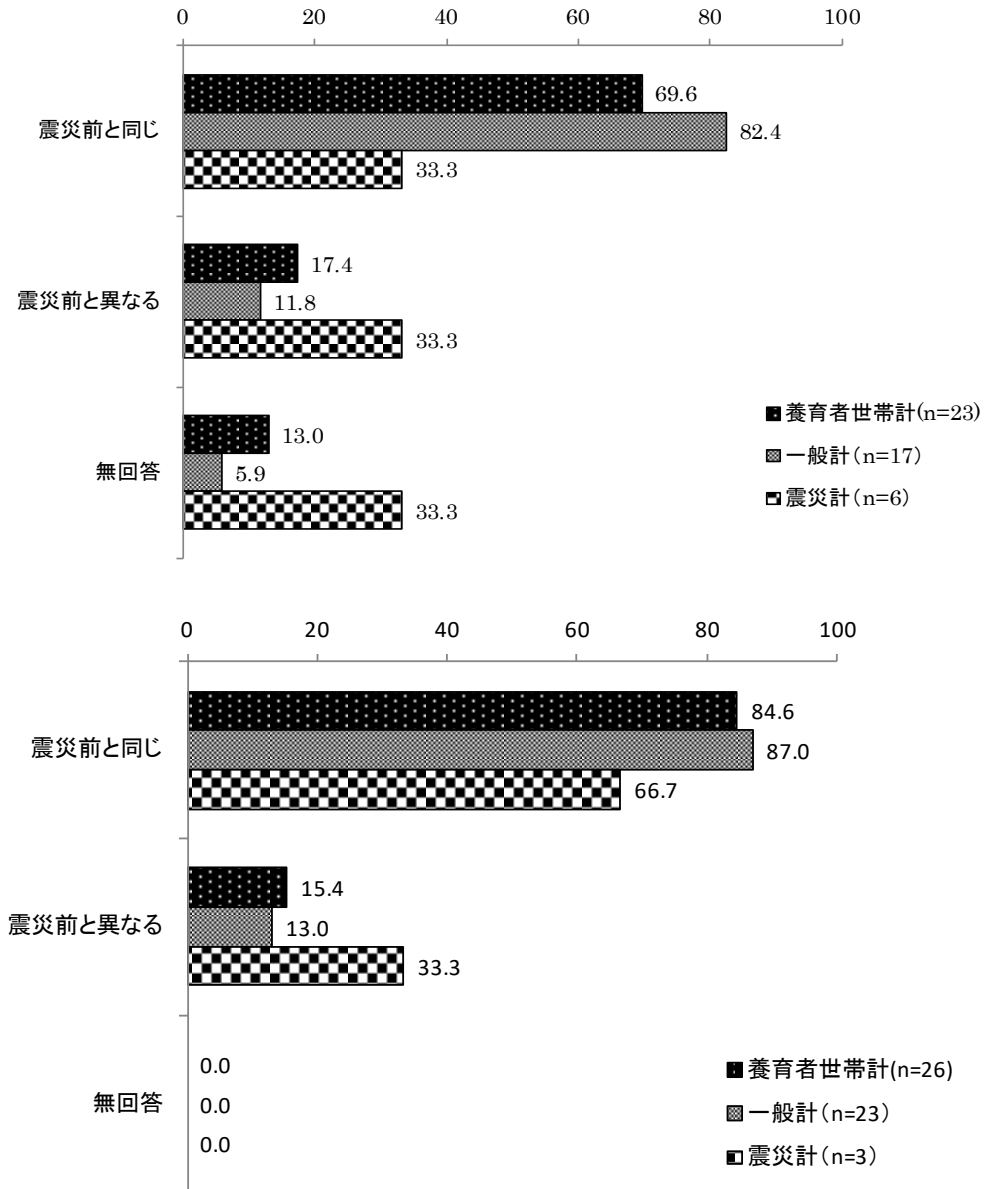
東日本大震災による住居の被害状況を尋ねたところ、全体としては「一部損壊」が 43.5%で最も高く、次いで「被害なし」が 30.4%であった。震災世帯では、「全壊・大規模半壊」が 33.3%と高かった。

前回調査と比較すると、全体としては「被害なし」、「全壊・大規模半壊」や「一部損壊」の割合はやや小さくなっている。

⑪ 東日本大震災前後の住居の変化

質問 11 東日本大震災の前と後では、震災を理由として住居が異なりますか。[該当する番号 1つに○をつけてください。]

図：震災前後の住居の変化（％）【上：令和5年度、下：平成30年度】



東日本大震災前後の住居の変化では、全体としては「震災前と同じ」が69.6%で最も高く、「震災前と異なる」は17.4%にとどまった。震災世帯では回答がばらついている。

前回調査と比較しても全体としての傾向に大きな変化はない。

⑫ 東日本大震災後の住居状況

【質問 12 は、質問 11 で「2. 震災前と異なる」とお答えの方にかがいます。】

質問 12 あなたの東日本大震災後の住居の状況について教えてください。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：震災後の住居状況 (%)

		持ち家を再 建・購入し た	仮設住宅・ みなし仮設 住宅	災害公営住 宅	父母や親族 等の家に同 居	借家(民間 の借家・ア パート・賃貸 マンション)	公営・公社・ 公団の賃貸 住宅	間借り	会社の社宅 等	その他	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=4)	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般計(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	震災計(n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成30年度	養育者世帯計(n=4)	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	一般計(n=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	震災計(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

東日本大震災前と現在で住居が異なる人に東日本大震災後の住居の状況を尋ねたところ、「借家」が 50.0%で高く、次いで「持ち家を再建・購入した」、「災害公営住宅」に回答が見られた。

前回調査と比較すると、全体としては「仮設住宅・みなし仮設住宅」や「公営・公社・公団の賃貸住宅」への回答が見られなくなった。

就労・経済の状況について

① 養育者世帯になる前の勤労形態

質問 13 あなたが養育者世帯になる前の勤労形態は何でしたか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：養育者世帯になる前の勤労形態（％）

		自営業	常時雇用者 (正規の職員・従業員)	臨時雇用者 (パートを含む)	労働者派遣 事業所の派遣社員	会社などの 役員	内職	家事手伝い (家族従業者)	その他	無職	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	21.7	34.8	13.0	4.3	0.0	4.3	0.0	4.3	13.0	4.3
	一般計(n=17)	17.6	29.4	17.6	5.9	0.0	5.9	0.0	5.9	11.8	5.9
	震災計(n=6)	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	11.5	42.3	11.5	0.0	0.0	3.8	0.0	3.8	19.2	7.7
	一般計(n=23)	13.0	47.8	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	21.7	4.3
	震災計(n=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3

養育者世帯になる前の勤労形態を尋ねたところ、全体としてみると「常時雇用者（正規の職員・従業員）」が 34.8%と最も高く、次いで「自営業」が 21.7%、「臨時雇用者」、「無職」が 13.0%となった。震災世帯では、半数が「常時雇用者」であった。

前回調査と比較して、全体としては「無職」の割合は小さくなった。

② 勤労状況の変化

質問 14 養育者世帯になったことで勤労の状況は変わりましたか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：養育者世帯になる前の勤労形態（％）

		仕事は変わらない	同じ職場内で別の仕事に変わった	転職した	仕事を辞めた	仕事に就いた	その他	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	52.2	0.0	8.7	17.4	4.3	4.3	13.0
	一般計(n=17)	47.1	0.0	11.8	17.6	5.9	5.9	11.8
	震災計(n=6)	66.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	73.1	0.0	3.8	7.7	0.0	7.7	7.7
	一般計(n=23)	73.9	0.0	4.3	4.3	0.0	8.7	8.7
	震災計(n=3)	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0

養育者世帯になったことでの勤労の状況の変化を尋ねたところ、全体としてみると「仕事は変わらない」が 52.2%と過半数を占めた。震災世帯についても同様であった。

前回調査と比較すると、「仕事は変わらない」「仕事を辞めた」や「その他」の割合が小さくなっている。

③ 転職理由

【質問 15 は、質問 14 で「3. 転職した」とお答えの方にかがいます。】

質問 15 転職した理由は何ですか。[該当する番号 2 つ以内 (主なもの) に○をつけてください。]

今回の調査では、質問 14 で「3. 転職した」という回答者は見られなかった。

④ 勤労形態

質問 16 あなたの現在の勤労形態は何ですか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：勤労形態 (%)

		自営業	常時雇用者(正規の職員・従業員)	臨時雇用者(パートを含む)	労働者派遣事業所の派遣社員	会社などの役員	家事手伝い(家族従業者)	内職	その他	無職	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	13.0	17.4	21.7	0.0	0.0	4.3	0.0	8.7	26.1	8.7
	一般計(n=17)	11.8	17.6	23.5	0.0	0.0	5.9	0.0	11.8	17.6	11.8
	震災計(n=6)	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	11.5	38.5	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.6	3.8
	一般計(n=23)	13.0	39.1	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	34.8	4.3
	震災計(n=3)	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

現在の勤労形態を尋ねたところ、全体としては「無職」が 26.1%で最も高く、次いで「臨時雇用者」が 21.7%、「常時雇用者(正規の職員・従業員)」が 17.4%となった。

前回調査と比較すると、「無職」の割合は小さくなり、「臨時雇用者」の割合は大きくなっている。

⑤ 仕事内容

【質問 17~23 は、質問 16 で 1~8 (「9. 無職」を除く) とお答えの方にかがいます。】

質問 17 あなたの現在の仕事の内容は何ですか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：仕事の内容 (%)

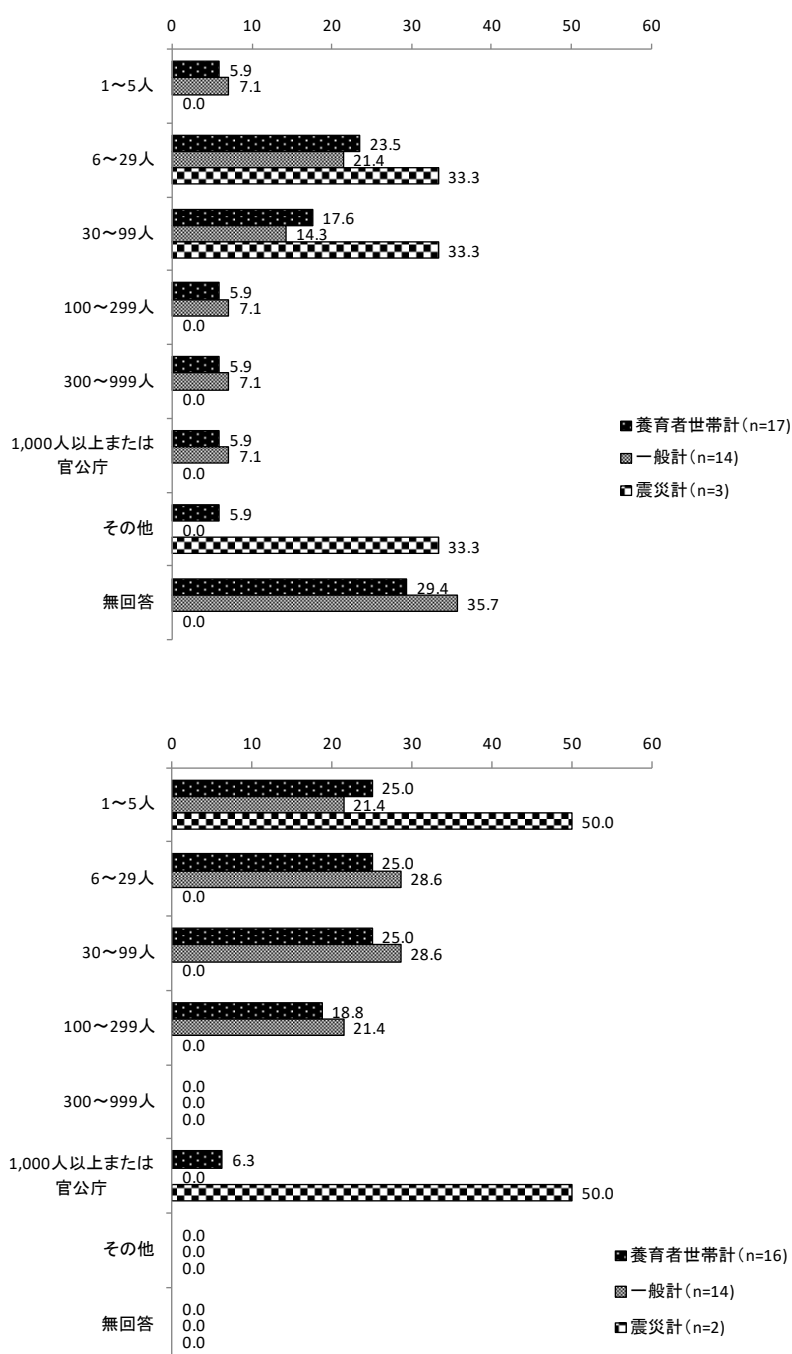
		専門的職業(医師、看護師、保健師、保育士・教員など資格を有するもの)	管理的職業(会社や団体の役員など)	事務(一般事務のほか、外勤事務を含む)	販売(商品の販売、店員、セールスなど)	運輸・通信(職業運転士・同助手、荷役など運輸従事者、通信従事者)	農業、林業、漁業	技能職(製造、加工、組立、建設、修理などの従事者)	サービス業(飲食店、理容・美容店など接客やサービス従事者)	清掃・包装等従事者	その他	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=17)	17.6	0.0	0.0	17.6	0.0	11.8	17.6	5.9	5.9	11.8	11.8
	一般計(n=14)	21.4	0.0	0.0	21.4	0.0	14.3	7.1	0.0	7.1	14.3	14.3
	震災計(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
平成30年度	養育者世帯計(n=16)	0.0	6.3	6.3	18.8	18.8	0.0	31.3	6.3		12.5	0.0
	一般計(n=14)	0.0	7.1	7.1	21.4	14.3	0.0	35.7	7.1		7.1	0.0
	震災計(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0		50.0	0.0

現在の仕事内容を尋ねたところ、全体としてみると「専門的職業」、「販売」、「技能職」が 17.6%、次いで「農業、林業、漁業」が 11.8%と続いた。前回調査と比較すると、「技能職」が最も高いことには変わりはなく「農業・林業・漁業」への回答が見られた。

⑥ 勤務先の規模

質問 18 あなたの勤務先の本社、支社、工場などを含めた企業全体の規模はどれくらいですか。【該当する番号 1 つに○をつけてください。】

図：勤務先の規模 (%) 【上：令和 5 年度、下：平成 30 年度】

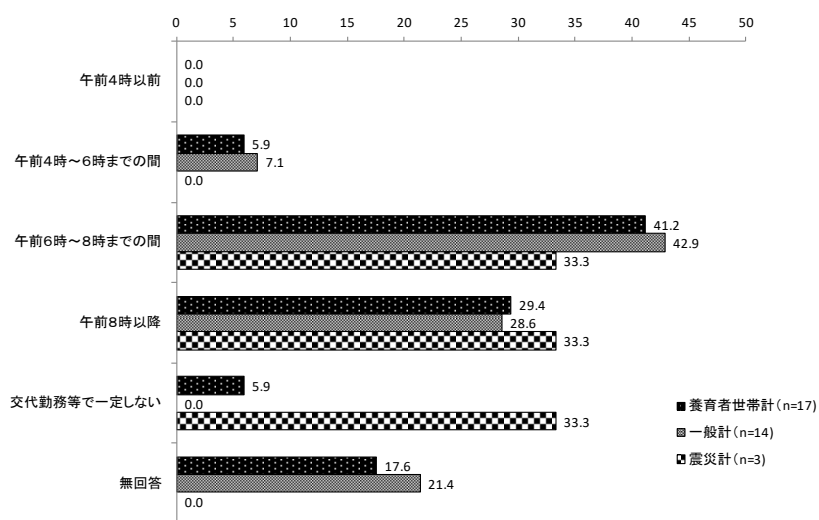


勤務先の本社、支社、工場などを含めた企業全体の規模を尋ねたところ、「6～29人」が23.5%で最も高く、次いで「30～199人」が17.6%と続いた。震災世帯をみると、100名以上規模での回答は見られなかった。

⑦ 出勤時間

質問 19 あなたの出勤時間（自宅を出発する時間。自宅で営業している場合には始業する時間）は、何時頃ですか。[該当する番号 1つに○をつけてください。]

図：出勤時間（%）【令和5年度】

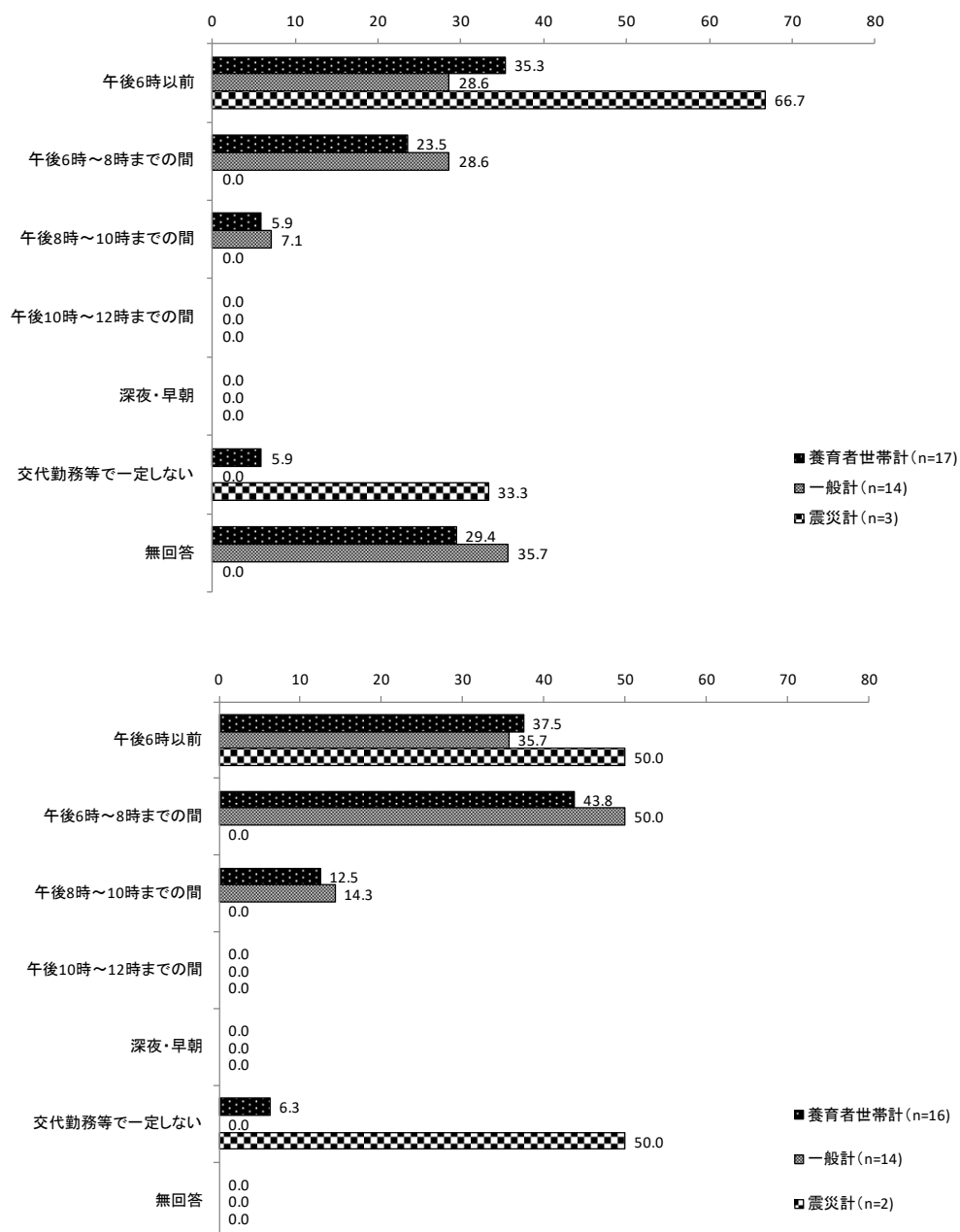


出勤時間を尋ねたところ、「午前6時～8時までの間」が41.2%で最も高く、「午前8時以降」が29.4%の順となった。

⑧ 帰宅時間

質問 20 あなたの帰宅時間（自宅で営業している場合には終業する時間）は、何時頃ですか。
 [該当する番号 1 つに○をつけてください。]

図：帰宅時間（%）【上：令和 5 年度、下：平成 30 年度】



帰宅時間（自宅で営業している場合には終業する時間）を尋ねたところ、「午後 6 時以前」が 35.3%、「午後 6 時～8 時までの間」が 23.5%の順となった。震災世帯では、「午後 6 時以前」が 66.7%と、一般世帯に比べて多かった。

⑨ 仕事を探した方法

質問 21 あなたは、今の仕事をどのような方法で探しましたか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：仕事を探した方法（％）

		公共職業安定所(ハローワーク)の紹介	ひとり親家庭支援員などの紹介	知人・友人などの紹介	家族や親族の紹介	学校からの紹介	企業の募集広告	新聞・チラシ・雑誌などの求人広告	インターネット	探す必要はなかった	その他	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=17)	11.8	0.0	11.8	5.9	5.9	5.9	5.9	0.0	11.8	23.5	17.6
	一般計(n=14)	14.3	0.0	0.0	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0	14.3	21.4	21.4
	震災計(n=3)	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0
平成30年度	養育者世帯計(n=16)	6.3	0.0	37.5	6.3	6.3	6.3	12.5		18.8	6.3	0.0
	一般計(n=14)	7.1	0.0	35.7	7.1	7.1	0.0	14.3		21.4	7.1	0.0
	震災計(n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	0.0	0.0

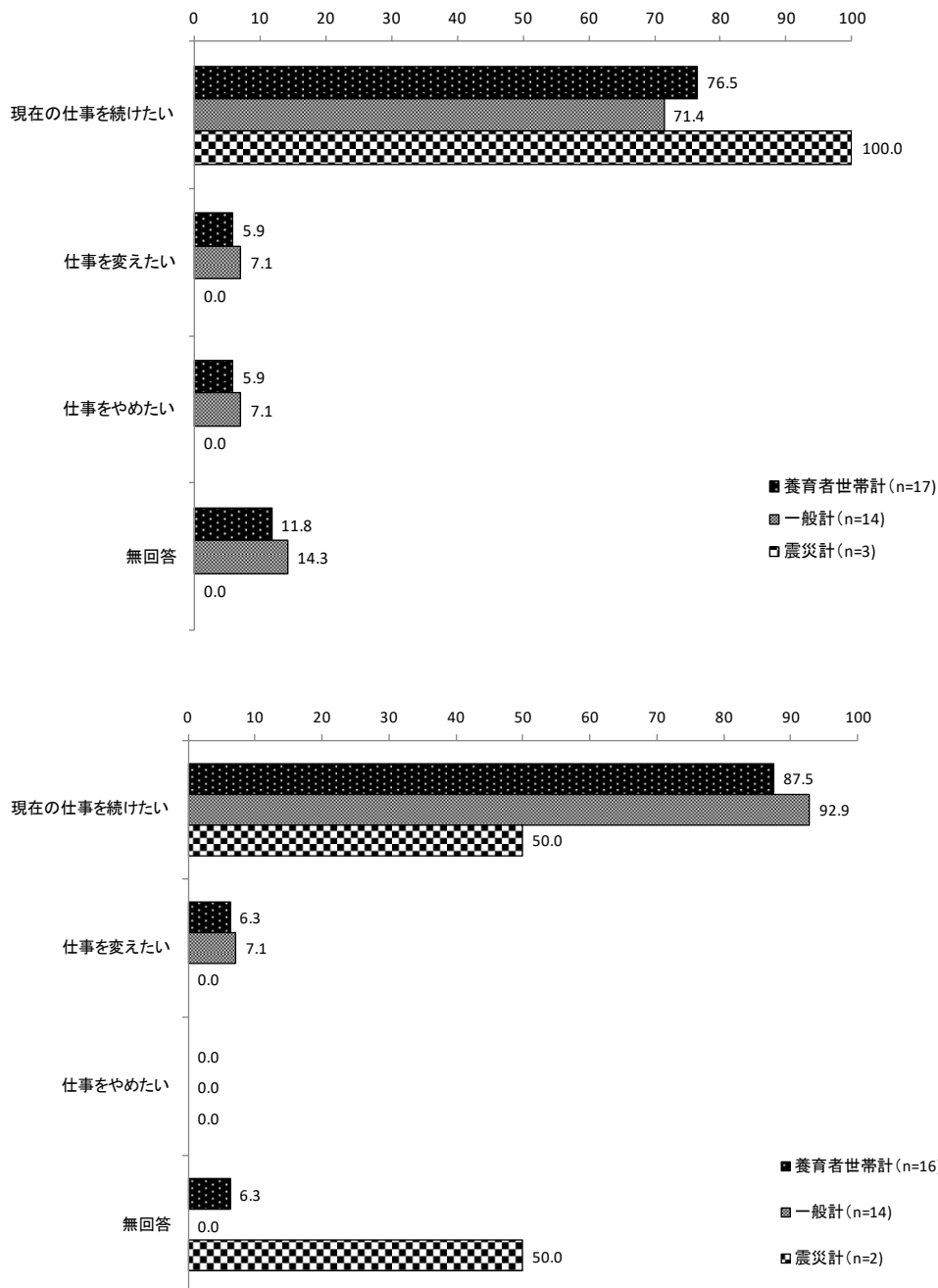
仕事を探した方法をみると、「その他」を除くと、「公共職業安定所」、「知人・友人などの紹介」、「探す必要がなかった」が 11.8%となった。震災世帯では、「知人・友人などの紹介」が一般世帯よりも多かった。

前回調査と比較して、「新聞・チラシ・雑誌などの求人広告」の割合は小さくなった。

⑩ 転職する希望

質問 22 あなたは現在、転職する希望がありますか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

図：転職する希望（％）【上：令和 5 年度、下：平成 30 年度】



転職希望について尋ねたところ、「現在の仕事を続けたい」が7割以上と圧倒的多数を占めた。前回調査と比較しても同じ傾向である。

⑪ 仕事を变えたい理由

【質問 23 は、質問 22 で「2. 仕事を变えたい」とお答えの方にかがいます。】

質問 23 仕事を变えたい理由は何ですか。[該当する番号 2 つ以内に○をつけてください。]

表：仕事を变えたい理由（％）

		収入がよ くない	子どもと 過ごす時 間が少ない	勤め先が 自宅から 遠い	健康がす ぐれない	仕事の 内容がよ くない	職場環 境になじ めない	労働時 間があわ ない	社会保 険がない 又は不 十分	休みが 少ない	身分が 安定して いない	経験や 能力が 発揮でき ない	降格	その他	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般計(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	震災計(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平成30年度	養育者世帯計(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	一般計(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	震災計(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

今回調査では、「職場環境になじめない」のみの回答となった。

前回調査時は、「仕事の内容がよくない」の回答であった。

⑫ 仕事に就かない理由

【質問 24 は、質問 16 で「9. 無職」とお答えの方にかがいます。】

質問 24 あなたが仕事に就かない（就けない）主な理由は何ですか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：仕事に就かない（就けない）理由（％）

		現在求職中 である	自分が病弱	子どもの世 話、病気	他の家族の 世話や介護	適職がな い、勤務条 件が合わ ない	働く必要が ない	高齢のため	就職のため の技能、技 術習得中	意欲がわか ない	その他	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=6)	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	一般計(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0
	震災計(n=3)	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
平成30年度	養育者世帯計(n=9)	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	88.9	0.0		0.0	0.0
	一般計(n=8)	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	87.5	0.0		0.0	0.0
	震災計(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0		0.0	0.0

仕事に就かない理由を尋ねたところ、「高齢のため」が 50.0%で最も高く、次いで「子どもの世話、病気が」が 33.3%となった。前回調査をみると、「高齢のため」が最も高いことには変わりはなかった。

⑬ 持っている資格

質問 25 あなたがお持ちの主な資格等は何ですか。[該当する番号 3 つ以内 (主なもの) に○をつけてください。]

表：持っている資格 (%)

	令和5年度			平成30年度		
	養育者世帯計(n=23)			養育者世帯計(n=26)		
	一般計 (n=17)	震災計 (n=6)		一般計 (n=23)	震災計 (n=3)	
栄養士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
調理師	4.3	5.9	0.0	3.8	4.3	0.0
保育士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
看護師	4.3	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
准看護師	4.3	5.9	0.0	3.8	4.3	0.0
理容師・美容師	13.0	11.8	16.7	0.0	0.0	0.0
医療事務	0.0	0.0	0.0	3.8	4.3	0.0
介護福祉士	0.0	0.0	0.0	3.8	4.3	0.0
ホームヘルパー	0.0	0.0	0.0	7.7	8.7	0.0
教員	4.3	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
外国語	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
理学療法士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
作業療法士	0.0	0.0	0.0	3.8	4.3	0.0
大型・第二種自動車免許	13.0	11.8	16.7			
パソコン	0.0	0.0	0.0	7.7	8.7	0.0
和洋裁・編物・着付	0.0	0.0	0.0	7.7	4.3	33.3
簿記・会計	8.7	5.9	16.7	7.7	8.7	0.0
行政書士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	30.4	29.4	33.3	15.4	17.4	0.0
なし	26.1	29.4	16.7	19.2	21.7	0.0
無回答	13.0	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0

持っている資格を尋ねたところ、「その他」を除くと「なし」が26.1%で最も高く、次いで「大型・第二種自動車免許」が13.0%であった。

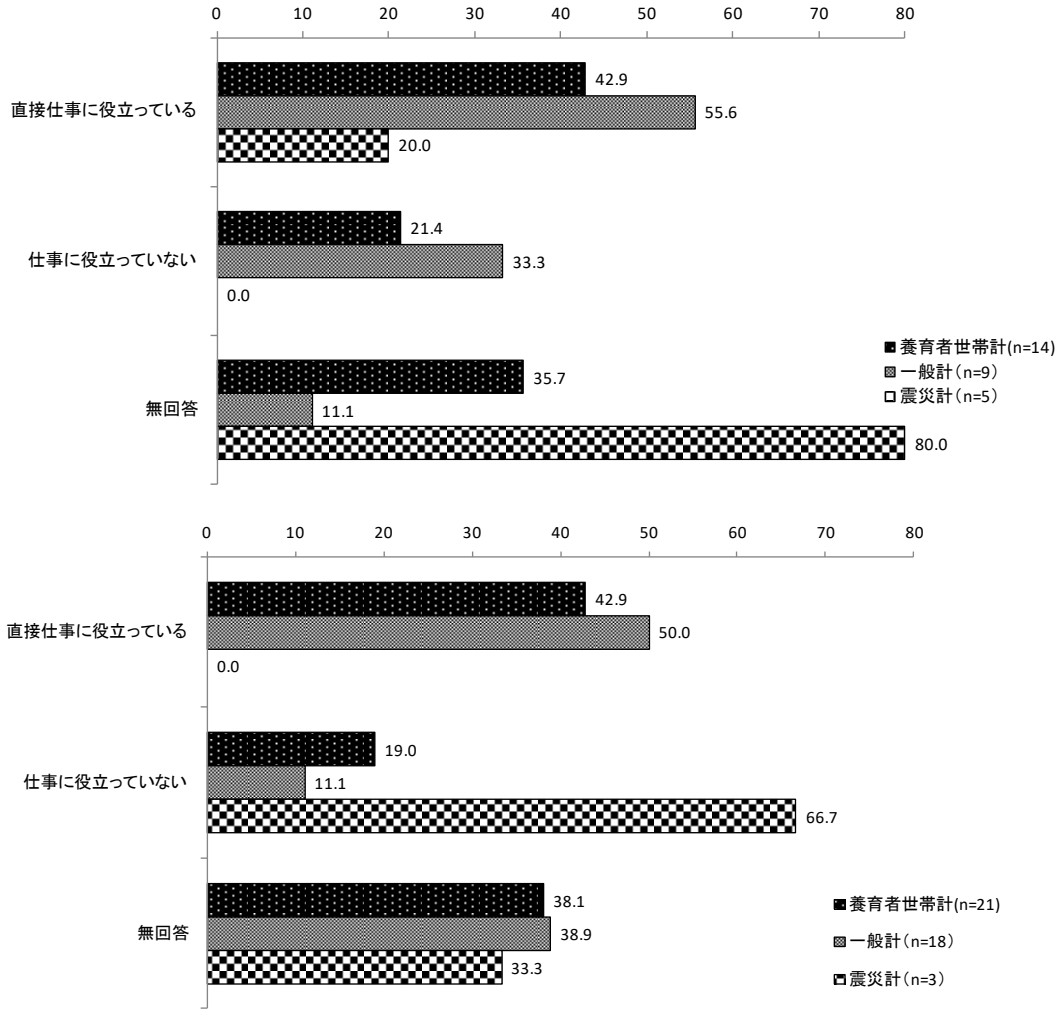
なお、前回調査では「大型・第二種自動車免許」の選択肢が「自動車運転免許」であったため、単純に比較はできない。

⑭ 資格は役立っているか

【質問 26 は、質問 25 で「20. なし」以外に○をつけた方にかがいます。】

質問 26 あなたがお持ちの資格は仕事に役立っていますか。【該当する番号 1つに○をつけてください。】

図：資格は役立っているか (%) 【上：令和5年度、下：平成30年度】



持っている資格が仕事に役立っているかを尋ねたところ、「直接仕事に役立っている」が42.9%、「仕事に役立っていない」が21.4%となった。震災世帯は一般世帯に比べ「仕事に役立っていない」が55.6%と高い。

前回調査と比較して、大きな傾向の違いは見られなかった。

⑮ 今後身につけたい資格・特技

質問 27 あなたが今後仕事のために身につけたい資格等は何ですか。

[該当する番号 2 つ以内 (主なもの) に○をつけてください。]

表：身につけたい資格 (%)

	令和5年度			平成30年度		
	養育者世帯計(n=23)			養育者世帯計(n=26)		
	一般計 (n=17)	震災計 (n=6)		一般計 (n=23)	震災計 (n=3)	
栄養士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
調理師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保育士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
看護師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
准看護師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
理容師・美容師	4.3	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
医療事務	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護福祉士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ホームヘルパー	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
教員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
外国語	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
理学療法士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
作業療法士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
大型・第二種自動車免許	0.0	0.0	0.0			
パソコン	4.3	5.9	0.0	7.7	8.7	0.0
和洋裁・編物・着付	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
簿記・会計	4.3	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
行政書士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	4.3	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
なし	60.9	58.8	66.7	76.9	78.3	66.7
無回答	26.1	23.5	33.3	15.4	13.0	33.3

今後身につけたい資格は、「なし」が 60.9%で最も高く、次いで「パソコン」「簿記」「その他」が 4.3%となった。

前回調査と比較すると、「なし」の比率がやや小さくなっている。

⑩ 年間収入（世帯）

質問 28 あなたの世帯の令和4年の年間収入（税金等控除前）はどの位ですか（ボーナス、児童扶養手当、年金、養育費、仕送り等臨時収入を含む全世帯員の合計額）。[金額を記入してください。]

表：年間収入（世帯）（%）

		100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600万円以上	収入なし	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	0.0	13.0	34.8	4.3	4.3	8.7	17.4	0.0	17.4
	一般計(n=17)	0.0	11.8	35.3	5.9	0.0	11.8	17.6	0.0	17.6
	震災計(n=6)	0.0	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	7.7	11.5	11.5	23.1	7.7	3.8	15.4	0.0	19.2
	一般計(n=23)	8.7	13.0	13.0	21.7	4.3	4.3	17.4	0.0	17.4
	震災計(n=3)	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3

年間収入（世帯）をみると、「200～300万円未満」が34.8%で最も高く、「600万円以上」が17.4%と続く。前回調査と比較すると、「300～400万円未満」が23.1%で最も高かったのに対し、4.3%まで低下した。ただし、「600万円以上」についてはやや増加した。

⑪ 年間収入（個人）

質問 29 あなたの令和4年の年間収入（税金等控除前）はどの位ですか（ボーナス、児童扶養手当、年金、養育費、仕送り等臨時収入を含む合計額）。[金額を記入してください。]

表：年間収入（個人）（%）

		100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600万円以上	収入なし	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	4.3	26.1	8.7	17.4	13.0	4.3	4.3	4.3	17.4
	一般計(n=17)	5.9	17.6	11.8	23.5	11.8	5.9	5.9	0.0	17.6
	震災計(n=6)	0.0	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	3.8	23.1	11.5	23.1	7.7	7.7	3.8	3.8	15.4
	一般計(n=23)	4.3	26.1	13.0	21.7	4.3	8.7	4.3	4.3	13.0
	震災計(n=3)	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3

年間収入（個人）を尋ねたところ、「100～200万円未満」が26.1%で最も高く、次いで「300～400万円未満」が17.4%、「400～500万円未満」が13.0%となった。

前回調査と比較して、「400～500万円未満」が増加した。

⑩ 年間就労収入（個人）

質問 30 あなたの令和4年の年間就労収入(税金等控除前)はどの位ですか(ボーナス等を含む合計額)。
[金額を記入してください。]

表：年間就労収入（個人）（％）

		100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～600万円未満	600万円以上	収入なし	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	13.0	4.3	13.0	8.7	4.3	8.7	0.0	13.0	34.8
	一般計(n=17)	17.6	0.0	17.6	5.9	5.9	11.8	0.0	5.9	35.3
	震災計(n=6)	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	7.7	11.5	15.4	11.5	11.5	0.0	3.8	15.4	23.1
	一般計(n=23)	8.7	8.7	17.4	13.0	13.0	0.0	4.3	17.4	17.4
	震災計(n=3)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

年間就労収入は、「100万円未満」「200万～300万未満」が13.0%と多かった。

前回調査と比較すると、「100万～200万未満」、「200万～300万未満」、「300万～400万未満」の割合は小さくなった。

福祉制度の利用状況について

① 社会保険の加入状況

質問 31 あなたの現在の社会保険の加入の状況は、どのようになっていますか。

[該当する番号 1つに○をつけてください。]

ア 雇用保険

表：雇用保険の加入状況（％）

		加入している	加入していない	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	34.8	52.2	13.0
	一般計(n=17)	35.3	52.9	11.8
	震災計(n=6)	33.3	50.0	16.7
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	65.4	26.9	7.7
	一般計(n=23)	65.2	26.1	8.7
	震災計(n=3)	66.7	33.3	0.0

社会保険の加入状況（雇用保険）を尋ねたところ、「加入していない」が52.4%で過半数を占めた。前回調査と比較して、「加入していない」の割合は小さくなった。

イ 健康保険

表：健康保険の加入状況（％）

		被用者保険(協会けんぽ、組合健保、共済組合等)に加入している	国民健康保険に加入している	その他	加入していない	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	43.5	39.1	4.3	0.0	13.0
	一般計(n=17)	47.1	35.3	5.9	0.0	11.8
	震災計(n=6)	33.3	50.0	0.0	0.0	16.7
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	57.7	34.6	3.8	0.0	3.8
	一般計(n=23)	56.5	34.8	4.3	0.0	4.3
	震災計(n=3)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0

社会保険の加入状況（健康保険）を尋ねたところ、「被用者保険」が43.5%で最も高く、次いで、「国民健康保険に加入している」が39.1%となった。

前回調査と比較して、「被用者保険」の割合は小さくなった。

ウ 公的年金

表：公的年金の加入状況（％）

		被用者年金に加入している	国民年金に加入している	加入していない	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	34.8	21.7	13.0	30.4
	一般計(n=17)	35.3	17.6	11.8	35.3
	震災計(n=6)	33.3	33.3	16.7	16.7
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	42.3	19.2	15.4	23.1
	一般計(n=23)	43.5	21.7	17.4	17.4
	震災計(n=3)	33.3	0.0	0.0	66.7

社会保険の加入状況（公的年金）について尋ねたところ、「被用者年金に加入している」が34.8%で最も高い。次いで「国民年金に加入している」が21.7%となったが、その一方で「加入していない」が13.0%となった。

② 生活保護受給の有無

質問 32 あなたは現在、生活保護を受給していますか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：生活保護受給の有無（％）

		受給している	受給していない	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	0.0	95.7	4.3
	一般計(n=17)	0.0	94.1	5.9
	震災計(n=6)	0.0	100.0	0.0
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	0.0	100.0	0.0
	一般計(n=23)	0.0	100.0	0.0
	震災計(n=3)	0.0	100.0	0.0

生活保護の受給状況について尋ねたところ、「受給していない」が9割以上となった。前回調査では「受給している」の回答はなかった。

③ 公的年金受給の有無

質問 33 あなたは現在、公的年金を受給していますか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：公的年金受給の有無（％）

		遺族年金を受給している	障害年金を受給している	老齢年金を受給している	受給していない	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	0.0	4.3	56.5	21.7	17.4
	一般計(n=17)	0.0	5.9	47.1	29.4	17.6
	震災計(n=6)	0.0	0.0	83.3	0.0	16.7
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	7.7	3.8	50.0	38.5	0.0
	一般計(n=23)	8.7	4.3	43.5	43.5	0.0
	震災計(n=3)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

公的年金の受給状況を尋ねたところ、「老齢年金を受給している」が 56.5%で最も高い。次いで、「受給していない」が 21.7%となった。震災世帯では、「老齢年金を受給している」が 8 割以上となった。前回調査と比較して、老齢年金が多いことには変わりはない。

④ 年金受給額

【質問 34 は、質問 33 で「1. 2. 3 受給している」とお答えの方にかがいます。】

質問 34 あなたの年金月額は何くらいですか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：年金受給額（％）

		5万円未満	5～10万円未満	10～15万円未満	15～20万円未満	20万円以上	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=14)	14.3	21.4	28.6	7.1	14.3	14.3
	一般計(n=19)	11.1	33.3	22.2	0.0	22.2	11.1
	震災計(n=5)	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	25.0	12.5	37.5	18.8	6.3	0.0
	一般計(n=23)	30.8	7.7	38.5	15.4	7.7	0.0
	震災計(n=3)	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0

あなたの年金月額をみると、「10～15 万未満」が 28.5%、「5～10 万円未満」が 21.4%の順となった。前回調査と比較して、「10～15 万未満」が多いことには変わりはない。

⑤ 児童扶養手当受給の有無

質問 35 あなたは児童扶養手当を受給していますか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

表：児童扶養手当受給の有無（％）

		満額受給している	一部受給している	受給していない	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	17.4	17.4	56.5	8.7
	一般計(n=17)	11.8	17.6	64.7	5.9
	震災計(n=6)	33.3	16.7	33.3	16.7
平成30年度	養育者世帯計(n=26)	11.5	34.6	46.2	7.7
	一般計(n=23)	13.0	34.8	43.5	8.7
	震災計(n=3)	0.0	33.3	66.7	0.0

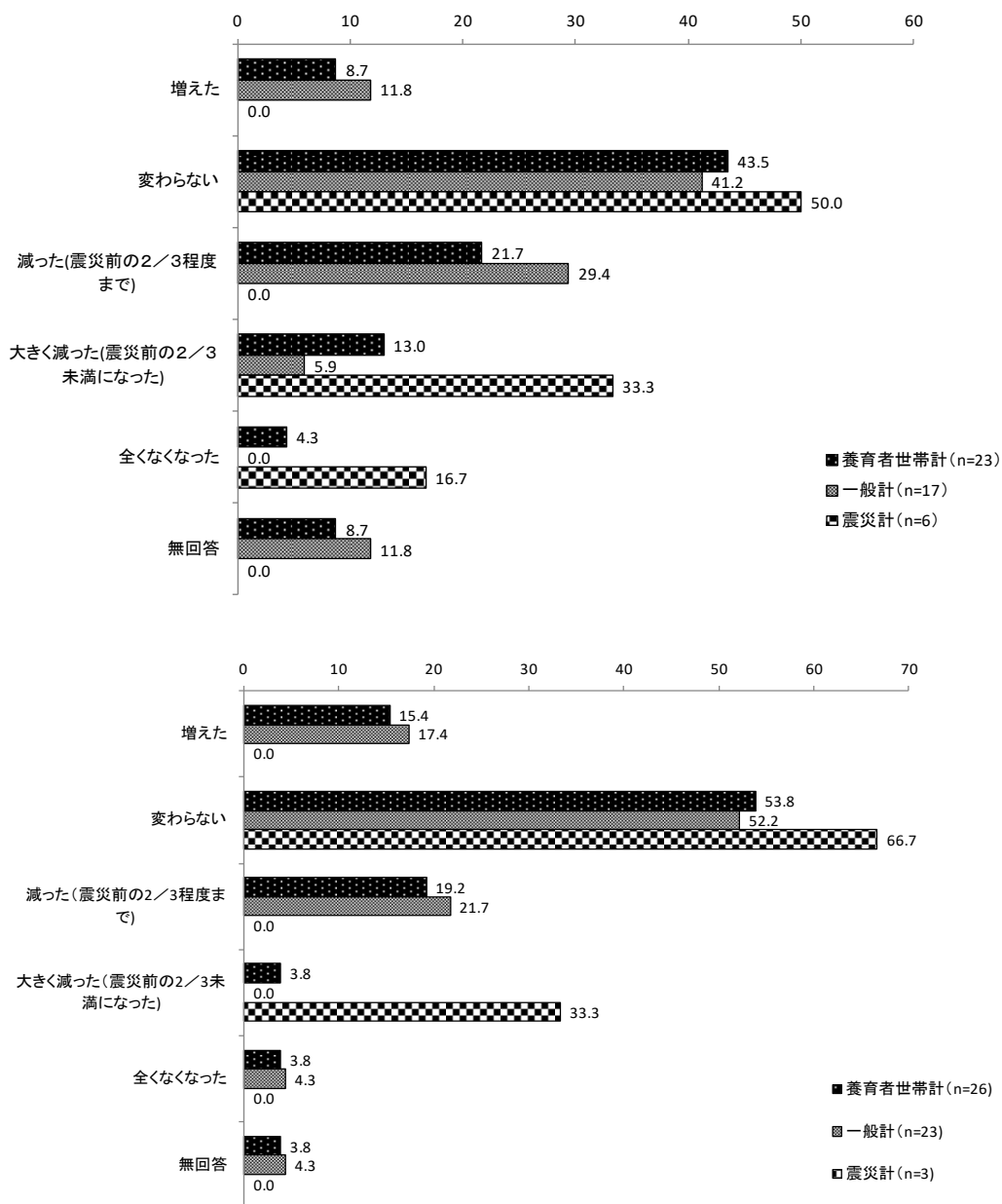
児童扶養手当の受給状況を尋ねたところ、「受給していない」が56.5%、「一部受給している」「満額受給している」が17.4%となった。震災世帯は、「満額受給している」が33.3%となった。

前回調査と比較して、「受給していない」が多いことに変わりはない。

⑥ 東日本大震災後の世帯の年間収入の変化

質問 36 東日本大震災後、世帯の年間収入は変化がありましたか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

図：震災後の世帯収入の変化（％）【上：令和 5 年度、下：平成 30 年度】



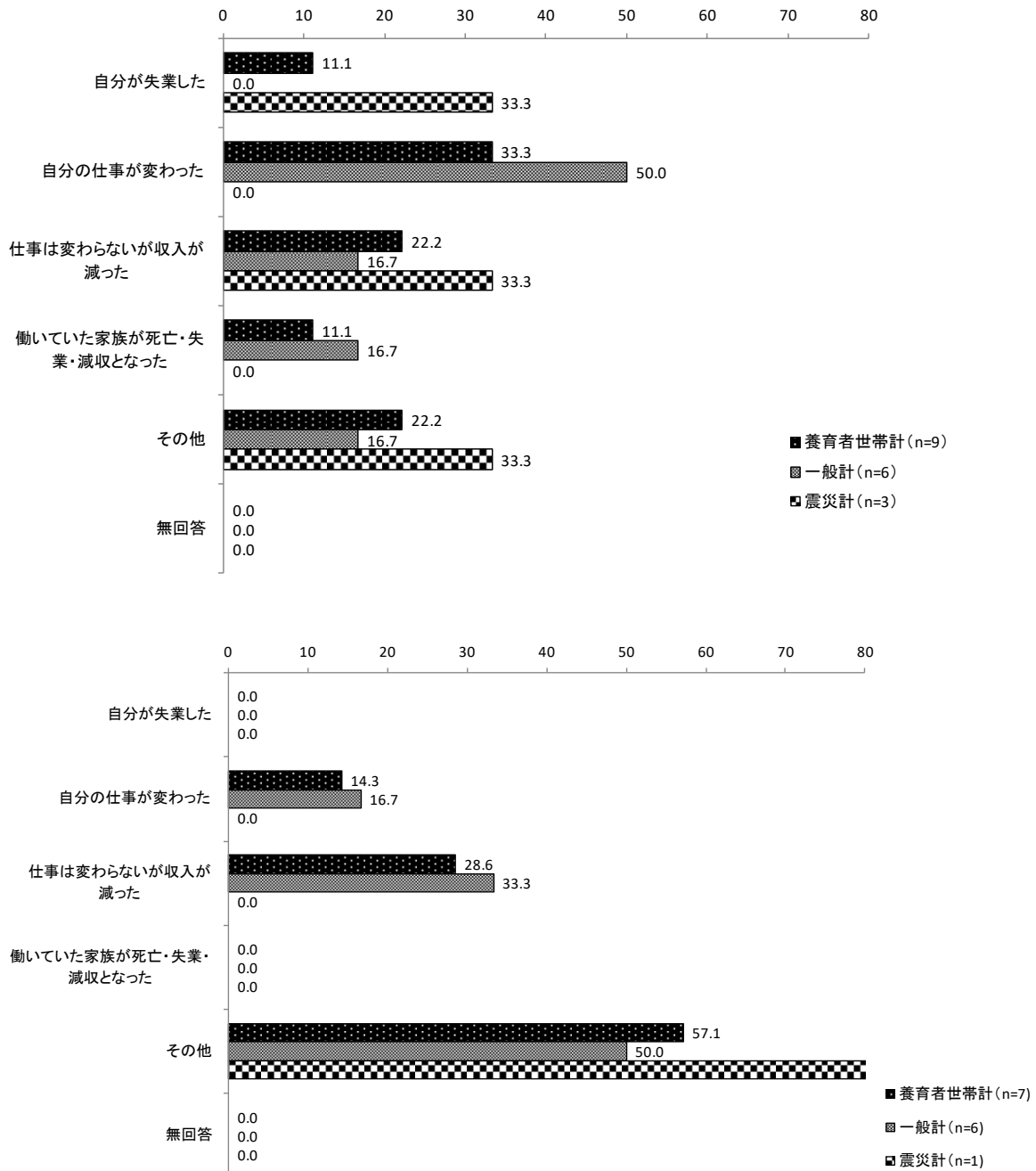
東日本大震災後の世帯年間収入の変化を尋ねたところ、「変わらない」が 43.5%、「減った（震災前の 2/3 程度まで）」が 21.7%となった。前回調査と比較すると、「変わらない」が多いことに変わりはない。

⑦ 世帯収入が減った理由

【質問 37 は、質問 36 で「3. 減った、5. 全くなかった」とお答えの方のうちがいます。】

質問 37 世帯収入が減った（全くなかった）主な理由は何ですか。【該当する番号 1つ に○をつけてください。】

図：震災後の世帯収入の変化（％）【上：令和 5 年度、下：平成 30 年度】



世帯収入が減った（全くなかった）を尋ねたところ、「自分の仕事が変わった」が 33.3% で最も高く、次いで「仕事は変わらないが収入が減った」が 22.2% となった。前回調査と比較すると、「仕事は変わら

ないが収入が減った」がやや低下した。また、「働いていた家族が死亡・失業・減収となった」は今回の調査では一定の回答が見られた。

子どもの状況について

① 子どものことで困っていること

質問 38 現在子どもさんのことで困っていること悩んでいることは何ですか。

[該当する番号 2 つ以内に○をつけてください。]

図：子どもに関する困りごと・悩みごと（％）

	令和5年度			平成30年度		
	養育者世帯計(n=23)			養育者世帯計(n=26)		
	一般計 (n=17)	震災計 (n=6)		一般計 (n=23)	震災計 (n=3)	
乳幼児の保育	4.3	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
小学校低学年児童の養育	8.7	11.8	0.0	3.8	4.3	0.0
教育・進学	43.5	29.4	83.3	46.2	39.1	100.0
しつけ	17.4	17.6	16.7	11.5	13.0	0.0
身の回りの世話	4.3	5.9	0.0	7.7	8.7	0.0
非行・交友関係	0.0	0.0	0.0	3.8	4.3	0.0
健康	8.7	5.9	16.7	11.5	13.0	0.0
食事・栄養	8.7	5.9	16.7	0.0	0.0	0.0
障害	17.4	17.6	16.7	23.1	21.7	33.3
就職	0.0	0.0	0.0	7.7	8.7	0.0
結婚	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子どもからの暴力	0.0	0.0	0.0	△	△	△
その他	8.7	11.8	0.0	11.5	13.0	0.0
特に悩みはない	17.4	17.6	16.7	19.2	21.7	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	3.8	4.3	0.0

子どものことで悩んでいることを尋ねたところ、全体としてみると「教育・進学」（43.5％）が最も多く、「障害」（17.4％）、「しつけ」（17.4％）がこれに続いた。震災世帯では「健康」や「食事・栄養」の割合も大きかった。

前回調査と比較して、「教育・進学」が主要な困りごとには変わりはない。

② 病気のときの子どもや身の回りの世話

質問 39 あなたが病気のとき、子どもの世話や、あなたの身の回りの世話はどなたに頼みますか。
[該当する番号1つ(主なもの)に○をつけてください。]

表：病気のときの世話（％）

	令和5年度			平成30年度		
	養育者世帯計(n=23)			養育者世帯計(n=26)		
	一般計 (n=17)	震災計 (n=6)		一般計 (n=23)	震災計 (n=3)	
同居の親族	56.5	52.9	66.7	73.1	73.9	66.7
別居の親族	34.8	41.2	16.7	11.5	8.7	33.3
友人・知人	4.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
近所の人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ホームヘルパー等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
家政婦、ベビーシッター等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童施設などのショートステイ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後デイサービス	0.0	0.0	0.0			
ファミリー・サポート・センター	0.0	0.0	0.0			
一時預かり	0.0	0.0	0.0			
その他	0.0	0.0	0.0	7.7	8.7	0.0
誰もいない	4.3	5.9	0.0	7.7	8.7	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

病気のときに子どもの世話や身の回りの世話をする人について尋ねたところ、すべての世帯で「同居の親族」が最も高い。一般世帯、震災世帯ともに過半数を占めている。

前回調査と比較すると、今回調査の方が「同居の親族」に加えて「別居の親族」の割合も大きい。

③ 学校が終わってからの子どもの過ごし方

【質問 40 は、小学校 1 年生から 3 年生の子どもさんのいる世帯にうかがいます。】

質問 40 子どもさんは、学校が終わってから主にどのように過ごしますか。

[該当する番号 2 つ以内に○をつけてください。]

表：学校が終わってからの子どもの過ごし方 (%)

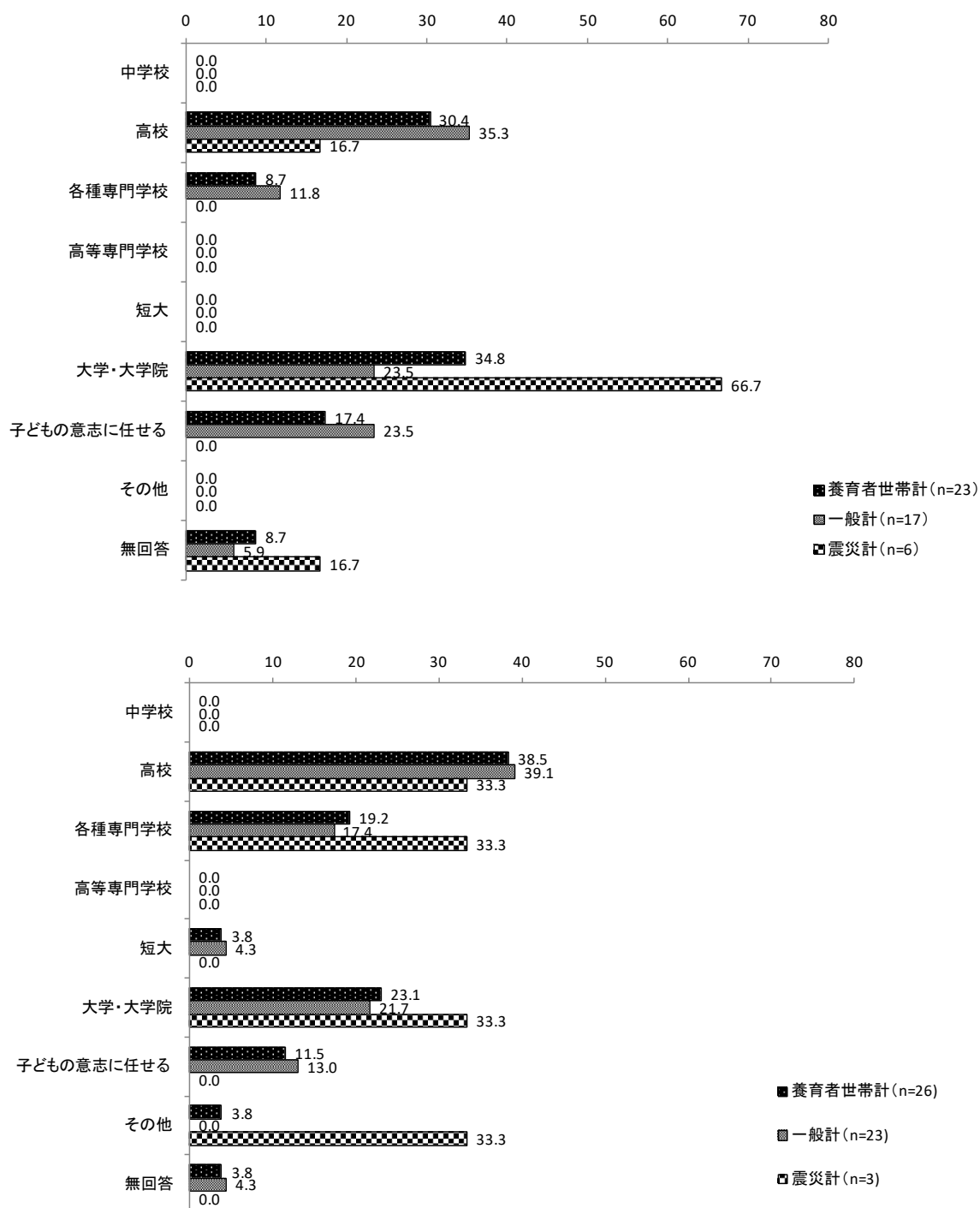
	令和5年度			平成30年度		
	養育者世帯計(n=4)			養育者世帯計(n=2)		
	一般計 (n=4)	震災計 (n=0)		一般計 (n=2)	震災計 (n=0)	
自宅に親といる	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自宅に同居の親族と一緒にいる	50.0	50.0	0.0	100.0	100.0	0.0
自宅に一人で又は子どもたちだけでいる	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
親戚の家	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
友達の家	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
近所の公園や空き地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童館	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後学童クラブ(学童保育)	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
放課後等デイサービス	0.0	0.0	0.0			
塾	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

子どもの学校が終わってからの過ごし方については、「自宅に同居の親族と一緒にいる」が 50.0%であり、「自宅に親といる」、「自宅に一人又は子どもたちだけでいる」、「児童館」、「放課後学童クラブ（学童保育）」にも回答が見られた。

④ 子どもの進学に関する考え

質問 41 子どもさんの進学はどこまでを考えていますか。【該当する番号 1 つに○をつけてください。】

図：子どもの進路に関する考え（％）【上：令和5年度、下：平成30年度】



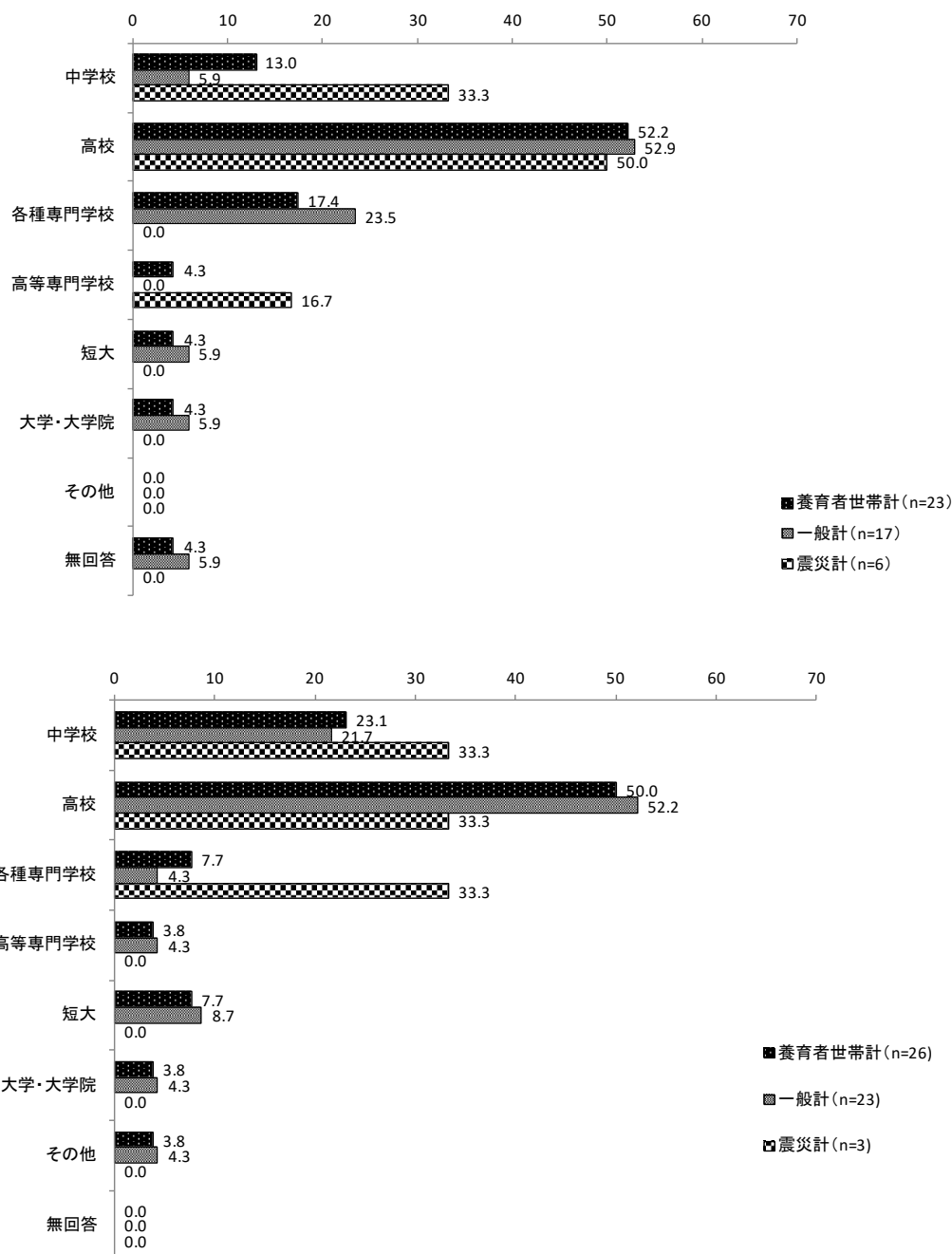
子どもの進学に関する考えについて尋ねたところ、「大学・大学院」が34.8%で最も高く、次いで「高校」が30.4%となった。震災世帯では「大学・大学院」が66.7%と多かった。

前回調査と比較して、すべての世帯で「大学・大学院」への回答が多く見られた。

⑤ 最終学歴

質問 42 あなたの最終学歴は何ですか。【該当する番号 1 つに○をつけてください。】

図：最終学歴 (%) 【上：令和 5 年度、下：平成 30 年度】



最終学歴を尋ねたところ、すべての世帯で「高校」が最も高い。養育者世帯で 52.2%、震災世帯で 52.9%、一般世帯で 50.0%となった。

前回調査と比較して、大きな傾向の違いは見られなかった。

困りごとの状況

① 現在困っていること

質問 43 現在あなたが困っていること悩んでいることは何ですか。

[該当する番号 2 つ以内に○をつけてください。]

表：現在の困りごと・悩みごと（％）

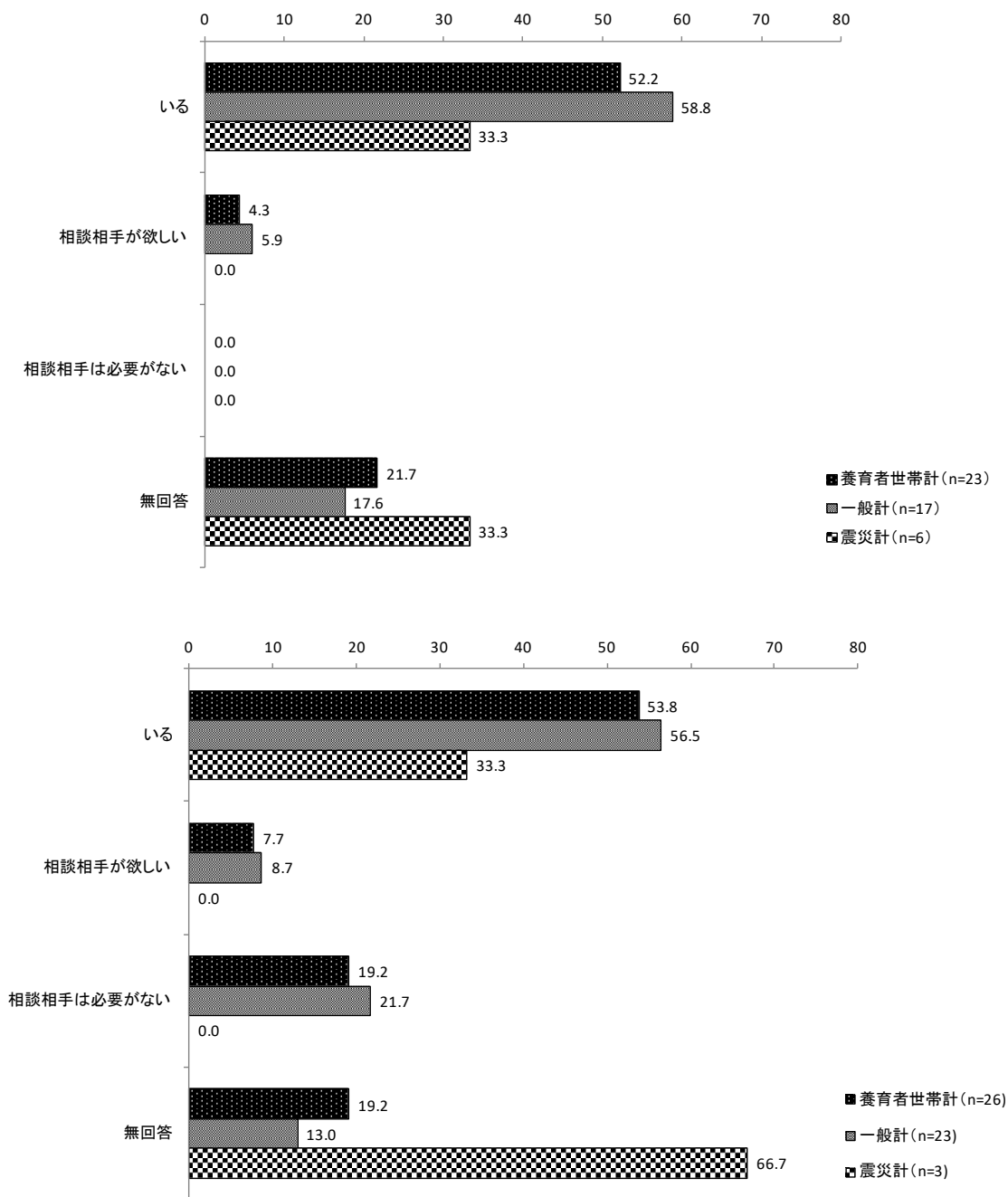
		生活費	仕事	住居	家事	健康	親族の健康・介護	相談相手	結婚	子どもの世話や教育	その他	特にない	無回答
令和5年度	養育者世帯計 (n=23)	56.5	4.3	0.0	0.0	39.1	8.7	8.7	0.0	26.1	0.0	13.0	4.3
	一般計 (n=17)	64.7	5.9	0.0	0.0	35.3	0.0	0.0	0.0	35.3	0.0	11.8	5.9
	震災計 (n=6)	33.3	0.0	0.0	0.0	50.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
平成30年度	養育者世帯計 (n=26)	46.2	7.7	3.8	0.0	34.6	15.4	3.8	0.0	34.6	0.0	15.4	0.0
	一般計 (n=23)	52.2	8.7	0.0	0.0	34.8	17.4	0.0	0.0	30.4	0.0	17.4	0.0
	震災計 (n=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0

困っていること、悩んでいることを尋ねたところ、全体としては「生活費」（56.5％）が最も多く、「健康」が 39.1％、「子どもの世話や教育」が 26.1％と続いた前回調査と比較しても、全体的な傾向に変わりはない。

② 相談相手の有無

質問 44 あなたには相談相手がありますか。[該当する番号 1 つに○をつけてください。]

図：相談相手の有無 (%) 【上：令和 5 年度、下：平成 30 年度】



相談相手について尋ねたところ、全体としては「いる」(52.2%)が過半数を占める。「相談相手は必要がない」への回答は見られなかった。

③ 相談先

【質問 45 は、質問 44 で「1. いる」とお答えの方にかがいます。】

質問 45 心配ごと等の相談は誰（どこ）にしていますか。[該当する番号 2 つ以内に○をつけてください。]

表：相談先（％）

	令和5年度			平成30年度		
	養育者世帯計(n=12)			養育者世帯計(n=14)		
	一般計 (n=10)	震災計 (n=2)		一般計 (n=13)	震災計 (n=1)	
民生委員・児童委員	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ひとり親家庭支援員	8.3	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県母子・父子福祉センター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
母子父子寡婦福祉団体・ひとり親家庭支援団体	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
県保健福祉事務所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
児童相談所	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
市町村	0.0	0.0	0.0	28.6	30.8	0.0
家族・親族	33.3	40.0	0.0	85.7	84.6	100.0
友人・知人	25.0	30.0	0.0	7.1	7.7	0.0
NPO法人	0.0	0.0	0.0	7.1	7.7	0.0
任意団体	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	7.1	7.7	0.0
無回答	50.0	40.0	100.0	0.0	0.0	0.0

心配ごと等の相談相手について尋ねたところ、「家族・親族」が 33.3%で最も高い。前回調査と比較しても、「家族・親族」がトップは変わらないが、「市町村」、「友人・知人」、「NPO 法人」への回答は見られなくなった。

福祉制度の利用状況

① 利用した福祉制度

質問 46 あなたが利用した（利用している）福祉制度は何ですか。

[該当する番号 5 つ以内（主なもの）に○をつけてください。]

表：利用した福祉制度（％）

	令和5年度			平成30年度		
	養育者世帯計(n=23)			養育者世帯計(n=26)		
	一般計 (n=17)	震災計 (n=6)		一般計 (n=23)	震災計 (n=3)	
児童扶養手当	56.5	52.9	66.7	50.0	56.5	0.0
母子父子寡婦福祉資金貸付金	0.0	0.0	0.0	3.8	4.3	0.0
生活保護	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
母子・父子家庭等医療費助成	21.7	23.5	16.7	30.8	34.8	0.0
各種奨学金	34.8	23.5	66.7	26.9	21.7	66.7
生活福祉資金	8.7	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0
JR通勤定期の割引	4.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
就職相談・斡旋・職業訓練等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	8.7	5.9	16.7	3.8	4.3	0.0
利用したことがない	17.4	11.8	33.3	15.4	17.4	0.0
無回答	13.0	17.6	0.0	3.8	0.0	33.3

利用した（利用している）福祉制度を尋ねたところ、「児童扶養手当」が 56.5%で最も高く、次いで「各種奨学金」が 34.8%、「母子・父子家庭等医療費助成」が 21.7%と続いた。震災世帯では、「JR通勤定期の割引」にも回答が見られた。

前回調査と比較して、「児童扶養手当」が多いことに変わりはない。

② 福祉制度を知ったきっかけ

【質問 47 は、質問 46 の福祉制度を 1 つでも利用した（利用している）方にかがいます。】

質問 47 どのようにして福祉制度を知りましたか。[該当する番号すべてに○をつけてください。]

表：福祉制度を知ったきっかけ（％）

	令和5年度			平成30年度		
	養育者世帯計(n=17)			養育者世帯計(n=21)		
	一般計 (n=13)	震災計 (n=4)		一般計 (n=19)	震災計 (n=2)	
国の広報誌	5.9	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
県の広報誌	17.6	15.4	25.0	0.0	0.0	0.0
市町村の広報誌	47.1	53.8	25.0	28.6	26.3	50.0
保健福祉事務所職員	5.9	0.0	25.0	19.0	21.1	0.0
市町村職員	41.2	30.8	75.0	38.1	36.8	50.0
民生委員・児童委員	5.9	7.7	0.0	14.3	15.8	0.0
母子父子寡婦福祉団体・ひとり親家庭支援団体	5.9	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
友人・知人	5.9	7.7	0.0	4.8	0.0	50.0
各種パンフレット・ポスター	5.9	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
新聞・テレビ	5.9	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
インターネット(ホームページ)	5.9	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
SNS	0.0	0.0	0.0			
その他	17.6	15.4	25.0	9.5	5.3	50.0
無回答	5.9	7.7	0.0	14.3	15.8	0.0

福祉制度を知ったきっかけについて尋ねたところ、全体としては「市町村の広報誌」（47.1％）で最も高く、次いで「市町村職員」（41.2％）、「県の広報誌」（17.6％）の順となった。前回調査と比較しても、全体としての傾向に変わりはないが、今回調査では「県の広報誌」の割合が大きく上昇している。

③ 希望する福祉制度

質問 48 あなたが希望する福祉制度は何ですか。[該当する番号 3 つ以内に○をつけてください。]

表：希望する福祉制度（％）

	令和5年度			平成30年度		
	養育者世帯計(n=23)			養育者世帯計(n=27)		
	一般計 (n=17)	震災計 (n=6)		一般計 (n=24)	震災計 (n=3)	
公的年金の増額	76.5	76.9	75.0	73.1	78.3	33.3
児童扶養手当の増額	52.9	61.5	25.0	38.5	43.5	0.0
生活保護費の増額	5.9	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
母子父子寡婦福祉資金貸付金制度の充実	5.9	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
4. 以外の貸付金制度の充実	0.0	0.0	0.0	3.8	4.3	0.0
母子・父子家庭等医療費助成制度の充実	11.8	15.4	0.0	19.2	21.7	0.0
減税	35.3	30.8	50.0	30.8	26.1	66.7
公営住宅の優先入居	11.8	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
就職相談・斡旋、職業訓練等	0.0	0.0	0.0	3.8	4.3	0.0
優先雇用	5.9	0.0	25.0	3.8	4.3	0.0
技能・資格取得のための援助の充実	5.9	7.7	0.0	11.5	8.7	33.3
保育制度・留守家庭児童に対する事業の充実	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学習支援	35.3	30.8	50.0	30.8	34.8	0.0
その他	11.8	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0
希望する制度はない	5.9	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

希望する福祉制度を尋ねたところ、全体としてみると「公的年金の増額」（76.5％）が最も多く、「児童扶養手当の増額」（52.9％）、「減税」及び「学習支援」（35.3％）がこれに続いた。

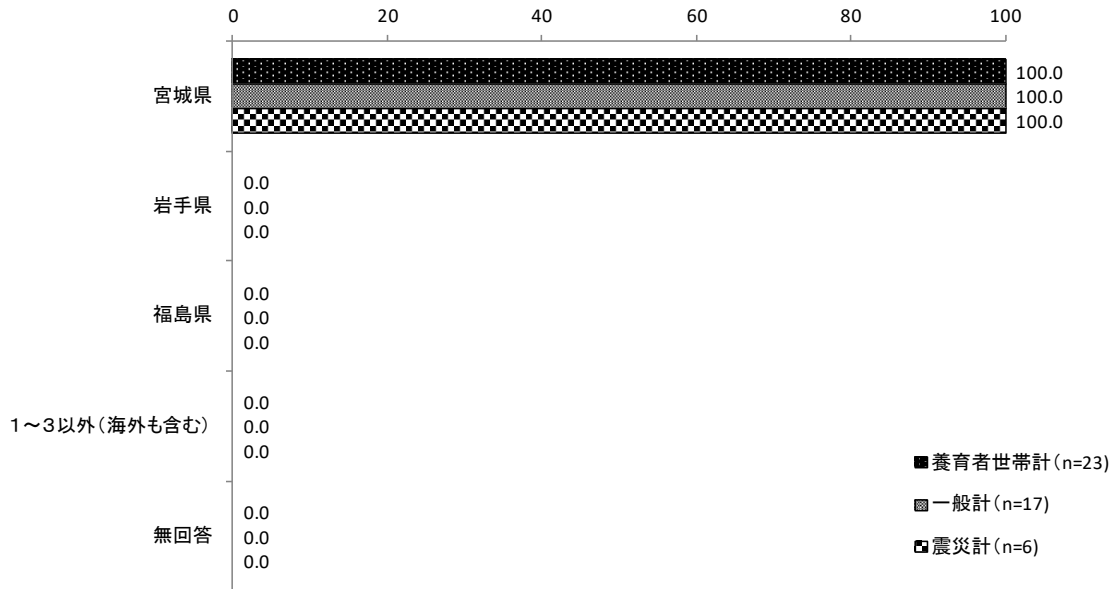
前回調査と比較しても、全体としての傾向に変わりはない。

東日本大震災以降の状況

① 東日本大震災時に暮らしていた場所

質問 50 東日本大震災発災当時、あなたはどこで暮らしていましたか。[該当する番号 1つに○をつけてください。]

表：東日本大震災時に暮らしていた場所 (%)



東日本大震災発災時に暮らしていた場所としては、一般世帯・震災世帯ともに全世帯が「宮城県」であった。

② 東日本大震災発災当時の年代

【質問 51～53 は、質問 50 で「1. 宮城県」、「2. 岩手県」、「3. 福島県」とお答えの方にかがいます。】

質問 51 あなたの当時の年代を教えてください。[該当する番号 1つに○をつけてください。]

表：東日本大震災発災当時の年代 (%)

		発災当時、30代以上だった	発災当時、20代だった	発災当時、20歳未満だった	発災当時、高校生だった	発災当時、中学生だった	発災当時、小学校5・6年生だった	発災当時、小学校3・4年生だった	発災当時、小学校1・2年生だった	未就学児だった	無回答
令和5年度	養育者世帯計 (n=23)	91.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3
	一般計 (n=17)	94.1	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	震災計 (n=6)	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7

東日本大震災発災当時の年代については、「発災当時、30歳以上だった」に回答が集中した。

③ 東日本大震災に起因する住居への影響

質問 52 東日本大震災発災後、震災に起因する住居についてあてはまるものを選んでください。[該当する番号すべてに○をつけてください。]

表：東日本大震災に起因する住居への影響（％）

		家屋が全壊した	家屋が大規模半壊した	家屋が半壊した	家屋が一部損壊した	避難所で1年未満暮らしていた	避難所で1年以上暮らしていた	仮設住宅への転居を含めて、引っ越しを1回経験した	仮設住宅への転居を含めて、引っ越しを2回経験した	仮設住宅への転居を含めて、引っ越しを3回経験した	自宅が帰宅困難区域となったため、転居せざるを得なくなった	上記の経験はない	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	0.0	4.3	13.0	30.4	4.3	0.0	4.3	4.3	0.0	4.3	30.4	8.7
	一般計(n=17)	0.0	5.9	17.6	35.3	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	23.5	11.8
	震災計(n=6)	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	50.0	0.0

東日本大震災に起因する住居への影響は、「家屋が一部損壊した」、「上記の経験はない」がそれぞれ30.4%で最も多く、次いで「家屋が半壊した」が13.0%であった。震災世帯では、「避難所で1年未満暮らしていた」、「仮設住宅への転居を含めて、引っ越しを2回経験した」、「自宅が帰宅困難区域となったため、転居せざるを得なくなった」にも回答が見られた。

④ 東日本大震災に起因する経験

質問 53 東日本大震災発災後、震災に起因する経験についてあてはまるものを選んでください。[該当する番号すべてに○をつけてください。]

表：東日本大震災に起因する経験（％）

		親やきょうだい、こどもが亡くなった	「1」以外の親族が亡くなった	両親が離婚した	私が仕事を失った	家族が仕事を失った	私自身が身体的に大きな被害を受けた	家族が身体的に大きな被害を受けた	家族が震災関連死した	パートナーから暴言や暴力等を受けた	東日本大震災発災後に開設された遊び場や学習支援の場をよく利用していた	上記の経験はない	無回答
令和5年度	養育者世帯計(n=23)	30.4	26.1	0.0	8.7	8.7	8.7	8.7	4.3	4.3	0.0	26.1	4.3
	一般計(n=17)	5.9	35.3	0.0	5.9	5.9	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	35.3	5.9
	震災計(n=6)	100.0	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0

東日本大震災発災後、震災に起因する経験については、「親やきょうだい、こどもが亡くなった」が30.4%で最も高く、次いで「『1』以外の親族が亡くなった」と「上記の経験はない」が26.1%と続いた。震災世帯では、(27.4%)、「私が仕事を失った」(15.8%)が続いた。震災世帯では、「家族が震災関連死した」への回答も見られた。